

平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 7 報）

平成 17 年 6 月 10 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が更に増加。」

1 ラーバの出現状況

6月9日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が 0 個/トン、200 μm 以上が 1 個/トンと、前回調査時（合計 25 個/トン）より大幅に減少しています。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 9.6 と、前回調査時より 0.1 上昇し、平成 9 ~ 16 年の平均値より約 2 低めの値となっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

6月6日以降の調査において、釜石と大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

各調査点の付着数は 352 ~ 1,804 個/袋と、全ての定点で前回調査時から更に増加しています。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の約 2 % が付着直後の個体でした。



図 調査点と付着稚貝調査結果

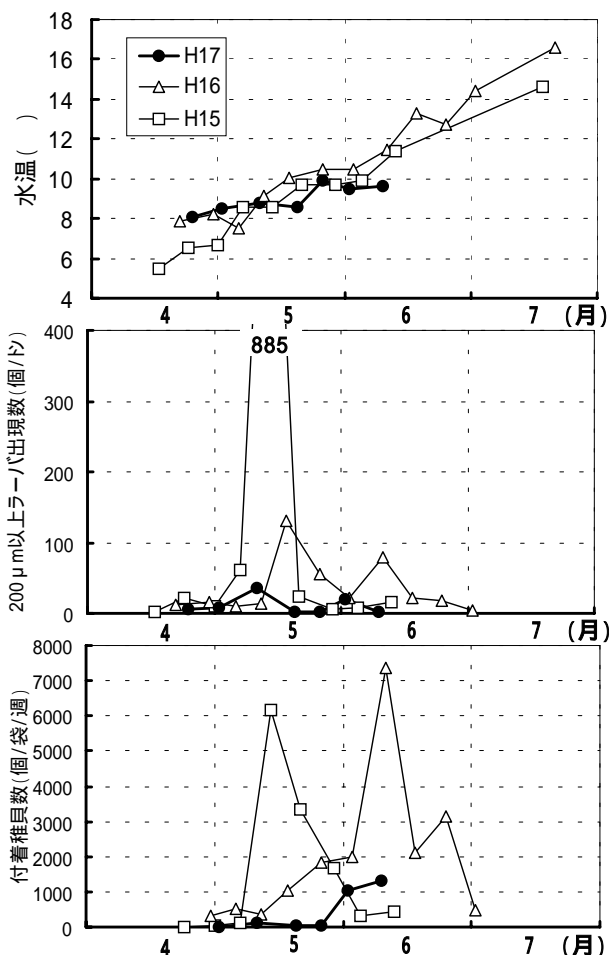


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部以南では、稚貝の付着数が大幅に増加しています。この結果と採苗器の投入後の有効期間から判断すると、5月下旬以降に投入した採苗器には、稚貝が順調に付着しているものと考えられます。

なお、唐丹湾では、ラーバと付着直後の稚貝の個数が激減しています。したがって、今後、県中南部では、稚貝の付着数は減少する可能性があります。

次報では、7月中旬に実施予定の付着稚貝調査の結果についてお知らせする予定です。